

すごいね！ あだちの こどもたち

VOL. 24

第35回 ワールドユース 囲碁選手権戦 少年の部



第4位 梅島小学校（6年生） **しみず たくや 拓哉 さん**

決戦はドイツのお城

決戦の地は、遙か遠くのドイツの古城「シュターレック城」。15カ国22名の棋士たちが集結した、プロ棋士の登竜門とされる大会で見事世界4位という好成績を収めました。

4位という結果について「ぼくより強い人がたくさんいた」と悔しそうに語る清水さん。「油断したり、怯んだりしては駄目。常に場面ごとの形勢を冷静に見つめて、最善の一手を考えなければならない」と、視線は既に未来に向いています。また、海外選手と交流したことで「外国語を勉強し、やりとりしたくなった」と、学びへの純粋な意欲も見せてくれました。

世界で活躍できる棋士に

清水さんが囲碁を始めたのは5歳。有名棋士の打ち方を見て勉強するうちに、プロ棋士に対して憧れを抱きました。小学4年生になると、「自分より強い人とたくさん囲碁を打って経験を積みたい」と、自ら決意を固め、日本棋院の院生^{*}に。現在は、常に順位付けされる厳しい世界に身を置き、多くのライバルたちと切磋琢磨の毎日です。「負けると、悔しくて辛い。でも、辞めたいと思ったことはこれまで一度もない。将来は世界で活躍できる棋士になりたい」。夢の実現に向けて、頑張ってください！

※ 院生
難易度の高い試験対局や面接など突破したプロ棋士をめざす金の卵。

第51回埼玉全国舞踊コンクール2018 モダンダンスジュニア部門

第2位 第十四中学校（3年生） **よしおか あおい さん**

日々、ダンスの研究

3歳からモダンダンス^{*}をはじめ、小学校5年生で初めてソロとしてコンクールに出場してから、めきめき頭角を現した吉岡さん。「いろんな人のダンスを日々研究し、いい踊りだと思ったところはノートにまとめています」と、ひたむきな努力が上達のコツと話してくれました。

モダンダンスの魅力は、「想いを身体で自由に表現できるところ」。さらに磨きをかけるため、毎日のトレーニングを欠かしません。

感動を与えられる踊りをめざして

「内気だった自分が、ダンスメンバーのリーダーを任せてもらい、思っていることを言えるようになったことで、世界が広がりました。「母の協力があるから大好きなダンスを踊ることができるので、もっとうまくなりたい」と感謝の気持ちも忘れません。

「ただ単に上手だなと感心されるような踊りではなく、

心に訴えかけられるような『感動を与えられる踊り』が今後の目標です。

将来は、世界をまたにかけけるダンサーとして活躍し、また指導者としても子どもたちに踊りを教えてみたいという吉岡さん。そんな夢に向かって、今日も練習に一層熱が入ります。

※ モダンダンス
形式に基づいたバレエの技法とは異なる、身体で自由に表現する創作ダンス。



Information

すごいね！あだちのこどもたち 学校支援課 庶務係 ☎ 3880-5961

「あだち教育だより」にご意見・ご感想をお寄せください。

8 足立区教育委員会事務局 学校支援課 ☎ 3880-5961 E-mail: kyoshokuin@city.adachi.tokyo.jp